

宝塚大学 看護学部 看護学科 2020年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

担当教員	専任／兼任	授業科目名	科目No	科目分類	単位数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
澤田 京子	専任	基礎看護学Ⅰ (概論)	KSP11101	専門 必修	1	総合病院で看護師として内科と外科での臨床経験がある。また、企業の健康管理室での健康教育に携わった。	臨床での事例を踏まえて、コミュニケーションに必要なポイントを教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開技術や事例提供を行う。
		基礎看護学Ⅲ (健康教育)	KSP21201	専門 必修	1		
北島 洋子	専任	基礎看護学Ⅱ (コミュニケーション技術)	KSP11201	専門 必修	1	大学病院で看護師として小児科病棟に勤務し、血液疾患や悪性疾患の看護に携わった。また、腎泌尿器専門病院に勤務し、人工透析や糖尿病の看護を経験した。	小児期から成人期、老年期にわたる各発達段階に応じた看護を提供するための、基礎的な知識と技術、看護専門職としての基盤となる考え方を修得するための学習を支援する。
		基礎看護学Ⅳ－1 (基礎看護技術)	KSP11202	専門 必修	1		
		基礎看護学Ⅳ－2 (基礎看護技術)	KSP11203	専門 必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	専門 必修	1		
尾ノ井 美由紀	専任	基礎看護学Ⅲ (健康教育)	KSP21201	専門 必修	1	総合病院で看護師として手術室、脳外科病棟と一般内科病棟で5年の臨床経験がある。また、保健所で保健師13年の経験がある。	病院入院中の療養者への臨床看護から退院へと、地域移行支援における看護師の役割から在宅療養中の本人及び家族への看護を教授する。また、疾病から健康の維持・増進と健康段階に合わせた看護提供の必要性を教授する。
		在宅看護論Ⅰ (概論)	KSP21109	専門 必修	1		
		在宅看護論Ⅳ (地域ネットワーク論)	KSP31203	専門 必修	1		
平野 加代子	専任	基礎看護学Ⅳ－1 (基礎看護技術)	KSP11202	専門 必修	1	総合病院で看護師として急性期病棟(外科・内科、小児科、脳神経系)、助産師として産婦人科外来、産科病棟での臨床経験がある。また、看護学生の実習指導にも携わっていた。	臨床での事例を踏まえて基礎看護技術を教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開技術や事例提供を行い、より臨床に近い状況を想定した授業内容を教授する。
		基礎看護学Ⅳ－2 (基礎看護技術)	KSP11203	専門 必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	専門 必修	1		
		基礎看護学Ⅵ (看護過程)	KSP21203	専門 必修	1		
梅川 奈々	専任	基礎看護学Ⅳ－1 (基礎看護技術)	KSP11202	専門 必修	1	看護師として、総合病院の脳神経外科、整形外科、産婦人科等での臨床経験がある。	実践で使える技術の習得に向けて、根拠をふまえた基礎知識、技術について説明を行いつつ、デモンストラレーションにも力を入れている。看護過程の展開の為に必要なスキルの基礎を教授する。
		基礎看護学Ⅳ－2 (基礎看護技術)	KSP11203	専門 必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	専門 必修	1		
		基礎看護学Ⅵ (看護過程)	KSP21203	専門 必修	1		
瀬山 由美子	専任	基礎看護学Ⅳ－1 (基礎看護技術)	KSP11202	専門 必修	1	総合病院の看護師として脳外科、内科、手術部での臨床経験がある。	日常生活に関する援助の知識や診療に伴う看護技術について、自らの実践経験を踏まえ教授、指導する。また、指導に際しては具体的な根拠を適宜説明する。
		基礎看護学Ⅳ－2 (基礎看護技術)	KSP11203	専門 必修	2		
		基礎看護学Ⅴ (フィジカルアセスメント)	KSP21202	専門 必修	1		
中川 ひろみ	専任	成人看護学Ⅰ (概論)	KSP11102	専門 必修	1	大学病院で看護師、認定看護師、看護師長として内科と外科、集中治療室・救急部での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		成人看護学Ⅱ (急性期・回復期援助論)	KSP21204	専門 必修	2		
		成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	専門 必修	1		
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	専門 必修	2		
房間 美恵	専任	成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	専門 必修	1	総合病院で看護師、看護師長として腎臓内科や免疫内科、内分泌内科、呼吸器内科、泌尿器科などの臨床経験があり、看護学生の実習指導に携わってきた。	実臨床での具体的な事例をもとに、慢性的”病い”をかかえて生きる人々がもつ課題を理解し、問題解決への取り組みができるよう看護理論を踏まえながら解説を行う。
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	専門 必修	2		
石田 亜季	専任	成人看護学Ⅲ (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	専門 必修	1	看護師として総合病院のICU、呼吸器循環器、整形外科、集学的治療、脳神経リハビリ病棟の臨床経験がある。主に呼吸障害のある患者の教育・指導に携わってきた。	臨床での事例を踏まえ、健康障害を持つ慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、問題解決のために必要な看護のポイントを教授する。
		成人看護学Ⅳ (援助方法論)	KSP31301	専門 必修	2		
山本 裕子	専任	老年看護学Ⅰ (概論)	KSP21101	専門 必修	1	看護師として、総合病院のICU病棟と消化器外科病棟における病院看護および介護老人保健施設において中間施設看護の経験を有する。	実践例を通して、高齢者の多様性に則した対象者把握・アセスメント・看護援助の方法に関する思考過程を育成し個別看護について教授する。加えて、認知症高齢者のBPSDへの対応などについて具体的な看護援助を教授する。
		老年看護学Ⅱ (疾病と障害)	KSP21102	専門 必修	1		
		老年看護学Ⅲ (理論とアセスメント)	KSP21206	専門 必修	1		
		老年看護学Ⅳ (症状とケアプラン)	KSP31201	専門 必修	1		

担当教員	専任 /兼任	授業科目名	科目No	科目 分類	単位数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
合田 友美	専任	小児看護学Ⅰ (概論と保健)	KSP21103	専門 必修	1	大学病院に勤務し、消化器疾患、内分泌疾患、神経疾患等の子どもの看護を担当。また、同院健康診断センターに勤務し、高校生、大学生の健康管理に携わった。	臨床での経験をもとに、乳児から思春期の各期の子どもの成長・発達の特徴をふまえた健康の保持、増進、回復に向けた看護援助を紹介、教授する。
		小児看護学Ⅱ (主な疾患と看護)	KSP21104	専門 必修	1		
		小児看護学Ⅲ (健康障害のある小児と家族への援助)	KSP21207	専門 必修	1		
		小児看護学Ⅳ (小児のアセスメントとケア論)	KSP31302	専門 必修	1		
西田 千夏	専任	小児看護学Ⅲ (健康障害のある小児と家族への援助)	KSP21207	専門 必修	1	小児専門病院での看護師として、主に長期療養を必要とする小児と家族への看護を実践してきた。NICUからの継続看護、在宅療養に向けた支援に関する実務経験も有している。	健康障害や療養環境が小児と家族に及ぼす影響、事例をアセスメントし問題解決に繋げる方法、および小児看護の基本的技術に関して、実務経験を基に教授する。
		小児看護学Ⅳ (小児のアセスメントとケア論)	KSP31302	専門 必修	1		
上山 直美	専任	母性看護学Ⅰ (概論)	KSP21105	専門 必修	1	大学附属病院、国立病院、助産所、保健センターにおいて助産師としての臨床経験がある。	周産期の女性と新生児に対する心身、社会的な側面と特徴と看護ケアの指導、看護過程の展開について教授する。
		母性看護学Ⅱ (女性生殖・周産期医療)	KSP21106	専門 必修	1		
		母性看護学Ⅲ (周産期アセスメント)	KSP21208	専門 必修	1		
		母性看護学Ⅳ (周産期ケアマネジメント)	KSP31202	専門 必修	1		
東尾 公子	専任	母性看護学Ⅲ (周産期アセスメント)	KSP21208	専門 必修	1	助産師として、総合病院の産婦人科病棟、助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、ウエルネスの視点で周産期の対象と新生児の看護について教授する。
		母性看護学Ⅳ (周産期ケアマネジメント)	KSP31202	専門 必修	1		
八田 勘司	専任	精神看護学Ⅰ (精神保健)	KSP21107	専門 必修	1	公立の精神科病院(20年)と国立大学病院手術部(5年)の看護師としての臨床経験がある	精神看護学の課題や精神保健の考え方などを講義する。看護に必要な精神疾患と精神症状と看護について、臨床経験を踏まえた事例を中心に講義する。
		精神看護学Ⅱ (主な精神疾患と精神症状)	KSP21108	専門 必修	1		
		精神看護学Ⅲ (施設における援助)	KSP21209	専門 必修	1		
		精神看護学Ⅳ (地域における援助)	KSP31101	専門 必修	1		
大谷 恵	専任	精神看護学Ⅰ (精神保健)	KSP21107	専門 必修	1	精神科病院で看護師としての臨床経験があり、特にアルコール依存症の回復支援に携わってきた。	実務経験を踏まえ、精神看護学の基本的な考え方、精神看護の対象となる人々への支援について教授する。
		精神看護学Ⅱ (主な精神疾患と精神症状)	KSP21108	専門 必修	1		
		精神看護学Ⅲ (施設における援助)	KSP21209	専門 必修	1		
		精神看護学Ⅳ (地域における援助)	KSP31101	専門 必修	1		
牧野 裕子	専任	在宅看護論Ⅰ (概論)	KSP21109	専門 必修	1	大学病院および公立病院看護師として、心臓血管外科、消化器外科、精神科看護の臨床経験がある。また、企業健康管理室にて従業員と家族に対する健康教育に携わった。	日常生活に即した、療養者と家族に対する疾病管理および健康の保持・増進にむけた健康支援の在り方と、疾病・障害をもつ療養者の在宅移行支援について講義する。
		在宅看護論Ⅱ (訪問看護の展開方法)	KSP21210	専門 必修	1		
		在宅看護論Ⅲ (在宅ケアの演習)	KSP31303	専門 必修	1		
久乗 エミ	専任	在宅看護論Ⅰ (概論)	KSP21109	専門 必修	1	助産師として大学病院での臨床経験がある。また、助産師・保健師として市役所や地域包括支援センターなどに所属し、地域住民の健康支援等に従事した。特に地域包括支援センターでは、主として処遇困難事例を担当していた。	地域在住の対象者のニーズを個人および集団の視点から捉え、住み慣れた地域で生活を継続するための支援、ならびに臨床経験で得た処遇困難事例等の紹介により、対象者が抱く課題などの理解が深まるよう教授する。
		在宅看護論Ⅱ (訪問看護の展開方法)	KSP21210	専門 必修	1		
		在宅看護論Ⅲ (在宅ケアの演習)	KSP31303	専門 必修	1		

実務経験のある教員等による授業科目の単位数	34
-----------------------	----

(重複科目は除く)